

平成 28 年度事業計画

1. 平成 27 年度介護報酬改定の影響について

平成 27 年度に介護報酬の改定があり減収が見込まれていたが、社会福祉法人詫間福祉会全体での平成 27 年度決算見込みでは予想を上回り、平成 26 年度とほぼ同程度の収入となる見込みである。

平成 28 年度についても 27 年度実績を下回らないよう努力したい。

おおはま荘については、地域密着型 29 床部分ではほぼ満床で（平均利用率 95%）の維持に努め、ショートステイ部分の収支の改善を図っていく必要があるが、ショートステイの利用率は 60%強の現状の改善はなかなか難しいのが実情である。

28 年度 1 年間で、おおはま荘ショートステイをどうするかの方角を考えていく必要がある。

2. 特別養護老人ホームたくま荘の改修計画について

特別養護老人ホームたくま荘については、平成 2 年度の新館を増床し平成 8 年度に旧館の大規模改修を行ってから 20 年経過し、施設の壁等の傷みも目立っており改修の必要がある。建替えという考えもあるが建て替えになると 1 床当たりの床面積を現在の基準にする必要があること（8.25 m²⇒10.65 m²）、工事期間中の入居者をどうするか等の課題があること、建築・設備費用として 10 億円程度見込まれること、スプリンクラー設備工事の際の補助金の返還が必要なこと（25,413 千円）、また、現況平屋建てであり、主体構造もしっかりしていることから改修の検討を行っている。

現在、平成 28 年度で基本設計及び実施設計を行い、平成 29 年度に改修を実施することで検討中である。

主な改修項目は、浴槽の増設、トイレの増設、多床室のプライバシー保護のために間仕切りを設置する改修を検討していく。

3. 介護職員の能力向上について

詫間福祉会では、介護職員の能力向上を目指して 27 年度には月 1 回外部講師を迎えて研修を実施してきた。

また、職員個々の能力向上と介護の質の向上のため、コンサルタントの指導の下業務の標準化を進めているところである。28 年 5 月には業務の標準化がまとまる予定であるので、それを基にして介護の質の向上に取り組みたい。